

平成28年 第9回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 平成28年9月15日(木) 午後2時00分～午後3時20分
2. 場 所 総合教育センター 2階 講座室
3. 主 宰 者 教育長 木下 誠
4. 委員の出席 江原 礼子 川畑 徹朗 秋田 久子 川崎 かおり
5. 委員の欠席 なし
6. 傍 聴 人 なし
7. 関係者の出席 教育長 木下 誠  
保健体育課長 増田 健一  
教育次長 二宮 叔枝  
社会教育課長 中畔 明日香  
学校教育部長 村上 順一  
スポーツ振興課長 前田 勝弘  
生涯学習部長 小長谷 正治  
公民館長 池田 真美  
教育長付参事 谷澤 伸二  
図書館長 三枝 芳美  
管理部副参事 升井 竜雄  
博物館長 亀田 浩  
総合教育センター所長 後藤 猛虎  
人権教育担当主幹 森口 真一  
施設課長 宮木 哲男  
少年愛護センター所長 米田 博一  
教育企画課長 春名 潤一  
教育総務課長 中井 秀典  
学校指導課長 廣重 久美子  
教育総務課 高田 幸美  
学事課長 大村 寿一  
教育総務課 寺内 みこ  
総合教育センター主幹 尾崎 眞弓

8. 議事

- (1) 開会宣言 木下教育長(午後2時00分)
- (2) 日程報告 木下教育長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。
  - 日程第 1 平成28年第8回定例会会議録の承認
  - 日程第 2 教育長報告
  - 日程第 3 議案第55号の審議
  - 日程第 4 議案第53号の審議
  - 日程第 5 議案第54号の審議

木下教育長より「日程第4については人事に関する案件であるため、日程第5については個人情報を含むため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき非公開にしたいと思いますが、よろしいでしょうか」

との発議があり、全委員はこれを了承。

日程第4及び日程第5は非公開の秘密会となる。

(3) 平成28年第8回定例会会議録の承認（日程第1）

平成28年第8回伊丹市教育委員会定例会（平成28年8月18日〈木〉開催）の会議録については、全委員一致でこれを了承。

(4) 教育長報告（日程第2）

管理部長より「9月分人事報告」・「8月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「8月分の寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部の、生涯学習部長より生涯学習部の、人権教育室人権教育担当主幹より人権教育室の「8月分行事実施報告」・「10月分行事実施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

川畑委員 16－1ページの図書館の利用状況について、神津分館の来館者数や貸出冊数が目標値を大幅に下回っているという説明であったが、具体的にどのくらいか。

三枝館長 来館者数11,000人、貸出冊数40,000冊を目標に掲げている。来館者数はおおむね達成に近い数値であるが、貸出冊数は大幅に下回っている状況である。

川畑委員 神津小学校を訪問したときに、子どもに比べて大人の貸出冊数が振るわないという話を聞いた。原因は調査中だと思うが、今分かっている範囲で教えていただきたい。

三枝館長 川畑委員がおっしゃったように、学校帰りに図書館に寄ってくれる子どももいるので、子どもの貸出冊数は比較的多いが、大人の利用が伸びていない。神津分館は、小学校やこども園に隣接しているので、10,000冊の蔵書のうち、約半分が子ども向けの図書、もう半分が大人向けの図書となるようにしている。また、図書を探しやすく、借りやすいようにシステムも導入している。

来館者数の割に貸出冊数が少ないことから、図書館に立ち寄ることと図書を借りることの間になんらかのハードルがあるのではないかと分析し

ている。今後、工夫を凝らしてこの現状を打開していかなくてはならない。神津分館が始動して4ヵ月が経過したが、スタッフにとっても新しいところからのスタートである。同じ施設内にある児童館等とタイアップした取組を打ち出したり、本館ことば蔵とも連携しながら神津分館を作り上げていくことができればと思う。

川崎委員 近隣にある社会福祉施設は、お年寄りの方が活動されるために方々から来られると聞いたことがある。周知の方法として、社会福祉施設を利用する高齢者をターゲットにすることを考えてみてはどうか。貸出カードはその場ですぐ発行できるのか。

三枝館長 身分証をお持ちいただいたらその場で発行できる。周辺施設への広報についても頑張っていきたいと思う。

木下教育長 図書館神津分館は、5月に開館したところだが、課題が出てきているのであれば、原因を調べて、具体的な対策を講じる必要がある。特に、神津小学校では学校運営協議会が始まっているので、そういった場も活用して、地域の課題として様々な立場の方からご意見をいただくとよいのではと考える。

川崎委員 この間の神津小学校の学校運営協議会は、芝生化が議題にあがっていた。

川畑委員 神津分館の現状が、まだ地域の方に知られていないと思う。  
開館してすぐに訪問したときは、昼間だったがとても空いていた。今はもう少し人が増えているのかもしれないが。

川崎委員 私だけかもしれないが、開館当初は少し入りづらいと感じた。今は状況が変わっているかもしれないのでまた行ってみようと思う。

江原委員 14ページの小学校連合体育大会に関連して、本日小学校を訪問したときに、組体操の練習を参観することができた。4クラスの児童がいたが、教頭先生を含めた7名の指導者のもと練習が行われていた。校長先生の話によると、普段は校長先生が加わったり、午後からの授業であれば低学年

の教諭の方々も加わるなどして、非常に手厚い指導体制を取られていると感じた。昨年度であれば、練習を開始して1週間ほど経った時点で、骨折する事故が2件起きていたが、今年度は大きな怪我もなく順調に練習できているので安心した。他の学校も指導体制を整えながら、体育大会に向けて練習されているところだと思うので、その状況について教えていただきたい。

増田課長

組体操については、5月に「取組に関する基本的な方針」を策定したことは既にご承知のことである。今、各学校から提出された指導計画を基に、指導主事が指導補助に回っている。練習の様子を申し上げますと、どの学校も校長や教頭もグラウンドに出られて、また、特に小学校では昨年度よりも教諭の人数を増やして指導にあたっている。特に印象的だったのは、専科の教諭が加わっている学校もあったことで、指導体制を厚くしていると感じたところである。中学校は、6校の訪問を終えているが、組体操の練習時には校長もグラウンドに出られて、危険なときは無理をせず、安全第一を念頭に練習しているということである。

今年度のピラミッドの段数を調査したところ、昨年度と比べて小学校は0.1段低い平均4.7段のピラミッドを行うことになっている。神津小学校と荻野小学校はピラミッドを行わないという回答であった。中学校は平均7.4段のピラミッドを行うということになっている。昨年度は全ての中学校で8段のピラミッドを実施していたが、今年度はほとんどの学校が7段に変更している。

怪我の状況については、今のところ報告は受けておらず、大きな事故は発生していないと認識しているが、体育大会が終わるまで気を引き締めて取り組んでいきたいと考えている。

江原委員

ありがとうございます。

組体操を口火に学校において議論を深めるなかで子どもの安全はもとより、教職員の協働体制が作られているということを感じている。子どもたちも一生懸命練習しているが、教諭の方々もまだまだ暑い中でのご指導は本当に大変だと思う。安全に十分配慮していただいて、怪我のない楽しい運動会になることを願っている。

川畑委員 萩野小学校がピラミッドを実施していないのは今年度からか。

増田課長 昨年度は5段のピラミッドを実施していた。

川畑委員 今年度実施されない理由を教えてください。

増田課長 子どもたちや教諭の意見を聞いたうえでの判断だと伺っている。

江原委員 組体操については、現場においても随分議論されたということをおっしゃっていた。

(5) 議案第55号の審議（日程第3）

木下教育長より「議案第55号 教育財産の用途廃止について」を議題とする旨の発議の後、「伊丹市立神津幼稚園の廃止に伴い、用途を廃止しようとするものです。」との説明がなされ、管理部長より補足説明があり、全委員一致で「議案第55号」を原案のとおり可決。

(6) 議案第53号の審議（日程第4）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第53号 伊丹市教育委員会事務局組織及び事務分掌規則の一部を改正する規則の制定について」を可決。

(7) 議案第54号の審議（日程第5）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第54号 学校運営協議会委員の委嘱について」を可決。

(8) 閉会宣言

木下教育長（午後3時20分）

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育長 木下 誠

伊丹市教育委員会委員 江原 礼子